

全事研使用表記について

【参考資料】常用漢字表（平成22年11月30日内閣告示第2号）

公用文における漢字使用等について（平成22年11月30日付内閣訓令第1号）

文部科学省公用文送り仮名用例集

公用文用語の要点（新日本法規 広瀬菊雄著 平成22年7月15日第20刷発行）

今後、全事研が作成し、外部へ出す資料に関しては、下記の統一表記を使用する。

			統一表記	備	考
あ	挨拶	→	あいさつ		
	あげる	→	上げる		
	あげる	→	挙げる		
	(～して) あげる	→	あげる		
	あたる	→	当たる	例	調査に当たって
	あらためて	→	改めて		
	在り方、あり方	→	在り方		
	有り難う	→	ありがとう		
	あわせて	→	併せて（副詞）		2つ以上のものを並べる場合
	あわせて	→	あわせて（接続詞）		
	案	→	（案）		現在の議案書、議事録等で表記
	活かす	→	生かす		
	致します	→	いたします		
	(～を) 頂く（動詞の場合）	→	頂く		もらう、食う、飲むの謙譲語
	(～して) いただく（補助動詞）	→	いただく		御+漢語+いただく（報告していただく、御配慮いただく）
	位置づけ	→	位置付け		
	いわれて	→	言われて		
	いろんな	→	いろいろな		
	伺う、窺う	→	伺う		聞く・尋ねる、問うなどの謙譲語
	伺う、窺う	→	うかがう		様子を探る、見て察知することなどに使用する場合
	窺える	→	うかがえる		
	・・・の上、	→	・・・の上、		読点を打つ
	打合せ、打ち合わせ		打合せ		
	促す、うながす	→	促す		
	嬉しい	→	うれしい		
	おいて、於いて	→	おいて		
	概ね	→	おおむね		
	行う、行なう	→	行う		
	行われる、行なわれる	→	行われる		
	おそらく	→	恐らく		
および	→	及び		A及びB、 A、B及びC、 A、B及びCの〇〇並びに△△は～～	
お詫び	→	おわび			
か	一ヶ月	→	一か月		
	掛かる	→	かかる		
	(～に) かかる	→	(～に) 係る	例	本件に係る
	関わる、係る	→	かかわる		
	か所	→	か所		算用数字→2か所 ×カ所
	箇所	→	箇所		漢数字→二箇所
	から	→	から		時・場所の起点を示す語につく（「より」は比較を表す場合に使用する）
	今日	→	本日		
	教委	→	教育委員会		
	～してください	→	ください、下さい		～～（して）ください（補助動詞）、下さい（動詞）
	～する事	→	～すること		
	御・ご	→	御挨拶、ごあいさつ		接頭語「ご」が付く語を漢字で書く場合は「御」、ひらがなで書く場合は「ご」
	この様に	→	このように		
	子ども、子ども、子供、子ども達、	→	子ども、子どもたち		
	このたび	→	この度		
さ	更に	→	更に（副詞）		
	更に	→	さらに（接続詞）		
	さまざま、様々	→	様々		
	～したいなど	→	～したいと		
	従って	→	したがって		
	～しまして	→	～（し）て	例	踏まえて
	〆切、締め切り	→	締切り		

	充分	→	十分			
	既に	→	すでに			
	全て	→	すべて			
	素晴らしい	→	すばらしい			
	ぜひ	→	是非			
	全国公立小中学校事務職員研究会	→	全事研（略称として使用する場合）			
	全国公立小中学校事務職員研究会	→	本会（遜る場合）		なお、役員組織を本部と称するが、遜る際に本部とは言わない	
	育つ、育ち、育てる	→	育つ、育ち、育てる			
	揃う	→	そろう			
た	誰	→	だれ			
	たとえば、	→	例えば、			
	たり	→	～たり～たり		たりは繰り返す場合のみ。単独では使用できない。（見たり聞いたり）	
	つくり上げる	→	作り上げる			
	辛い	→	つらい			
	繋げる、繋ぐ	→	つなげる、つなぐ			
	出来る	→	できる			
	～っていう	→	～という			
	～であったりですか	→	～であったり			
	～でありますとか	→	～ですとか			
	～でしょうか	→	～か	例	ございませんか	
	～ですけども	→	～ですが			
	～というような	→	～という			
	とおして	→	通して			
	～の通り	→	～のとおり			
	とき・時	→	とき（場合と同じ意味の場合）			
	とき・時	→	時（時代・次期・時間などの意味を表す場合）			
	とくに	→	特に			
	とどまる、留まる	→	留まる			
	～とともに、共に	→	～とともに（句と句をつなぐ場合）			
	～とともに、共に	→	共に（句の頭に使用し、一緒に何かをする場合）		共に～	
	とりまとめ	→	取りまとめ			
	取組、取組み、取り組み	→	取組（名詞） 取り組み（動詞）		文部科学省作成「公用文送り仮名用例集」より	
	取る	→	意味によって使い分け			
	執る	→	意味によって使い分け			
	採る	→	意味によって使い分け	例	アンケートを採る	
	捉え・とらえ	→	捉え		～と捉え、	
	な	無い	→	ない		
		なお、尚	→	なお		
		中	→	なか		お忙しいなか、
～など、等		→	～など（「など」と読ませたいときはひらがな表記）		それだけではなく、あくまで一例として挙げ、ほかにも同種のものがあることを表す副詞	
～など、等		→	等（「など」とは読まない。トウと読む）		同種のことを並べてあげて、そのほかにもまだあることを表す接尾語	
なにか		→	何か			
何卒		→	なにとぞ			
ならびに		→	並びに		使い方として「及び」がないところに並びは使わない	
～なので		→	～ですので			
～の為		→	～のため			
～の方から、～のほうから		→	～から			
～の方が		→	そのまま		（～と比較して）市町村の方が	
狙い		→	ねらい			
は		%	→	パーセント		%は記号
	配布・配付	→	配布		過去に使い分けられていたが、現在は法令により統一することが定められている	
	育む、育み	→	はぐくむ、はぐくみ			
	働き掛け	→	働きかけ			
	葉書	→	はがき			
	話合い、話し合い	→	話合い			
	話し合う	→	話し合う（動詞）			
	貼る	→	はる		下段参照（貼るのままで可）	
	はる	→	張る			
	ひとりひとり	→	一人一人			
	拡げる	→	広げる		ただし、（研）つなぎ拡げる	
	日頃、日ごろ	→	日頃			
	普段	→	ふだん			
	ふまえて	→	踏まえて			
	頁	→	ページ			

	僕ら	→	私たち		
	他に	→	ほかに (ほか1名、外1名)		他を、ほかと読むのは誤り
	ほしい	→	・・・してほしい(補助動詞)		
	ほしい	→	欲しい(自分のものにしたい・手に入れたい)		
	ほど	→	程	例	御了解の程(程度の意味を表す場合は漢字)
	ほど	→	ほど		形容名詞・副助詞の場合はひらがな
	本総会・本評議員会	→	本総会・本評議員会		×今総会、×今評議員会
	ほんと	→	本当		
ま	益々	→	ますます		
	または	→	又は		
	また、又	→	また		接続詞
	見積もり	→	見積り		
	身につける	→	身に付ける		
	みんな、みな、みなさん、みなさま	→	皆、皆さん、皆様		
	持ち方	→	もちかた	例	分科会のもちかた
	もつ	→	(機会を)もつ、荷物を持つ		
	もと	→	下		
	もとづき	→	基づき		
	もとづく	→	基づく		
	もとに	→	基に		
	めざす	→	目指す		
	申し込み、申込	→	申込み		
	元々	→	もともと		
	諸々	→	もろもろ		
	文科省	→	文部科学省		
や	やっぱり	→	やはり		
	山々	→	やまやま	例	行きたいのはやまやまですが
	～の様だ	→	～のようだ		
	よい	→	良い		
	～より	→	～より		比較を表す場合に使用する(「から」は時・場所の起点を示す語につく)
	宜しく	→	よろしく		
わ	わかる	→	分かる		
	われわれ	→	我々		
	私達、君達	→	私たち、君たち		友達は漢字
	わかりにくい、わかりづらい	→	分かりづらい		分かる+辛い
数字	漢数字を使う場合	→	漢字熟語、数的意味の薄いもの	例	一般的、五重の塔
	漢数字を使う場合	→	名詞として使用する場合	例	一つ、二つ、一人、二人、一日、二日
	算用数字を使う場合	→	概数として使用する場合	例	1回、2回、1日目、2日目
	二桁以上の数字	→	半角 金額にはカンマ(,)を入れる		
付・附	この5語に限り「附」を使う		寄附、附帯、附則、附属、附置		
接続詞	漢字で書く4語		及び、並びに、又は、若しくは		一般的に接続詞はひらがなを使用するが、左記の4語は例外
氏名	フルネーム				
固有名詞	正式名				
記号	「・」		並列表記の場合に使用する。		
	『 』		原則は、「」の中に、カギ括弧が必要な場合に使用する。		
	「？」		使用しなければならない明確な意図がない場合は使用しない。		

※「様」、「氏」は原則使わない。

※原則的に話し言葉は使用しない。